

講演

テクノオーシャン2002冠セッション

沿岸域の持続的 発展を支える新技術

11月22日(金) PM1:00~PM3:00

●神戸国際展示場(神戸ポートアイランド内)2号館 3階 3A会議室

当講演のみを聴講される方は入場無料です(受付にそのおねを伝えて下さい)



善 功企 先生

●プロフィール

昭和48年4月 運輸省港湾局入省
平成10年9月より現職 九州大学大学院工学研究院教授

海洋における新形式基礎

◆サクシオン基礎の現状と課題◆

講演概要 サクシオン基礎とは、基礎内の水を強制的に排水することによって発生する基礎内外の水圧差(サクシオンとよばれる)を利用して、地盤中に根入れする基礎をいう。近年、北海の石油掘削リグで多く用いられているが、古くは、世界に先駆けて我が国の防波堤に適用されている。本講演では、サクシオン基礎の国内外における適用事例、沈設・設計・施工法の現状と課題について紹介する。



清宮 理 先生

●プロフィール

昭和48年4月 運輸省港湾局入省
平成9年4月より現職 早稲田大学理工学部土木工学科教授

都市防災のための大型水門計画

講演概要 東京湾、大阪湾など高潮の危険性のある地点で湾前面に大型水門ラインを構築して都市の安全性を向上させる提案がなされている。これは、地球温暖化により今後100年で1m弱の潮位の上昇が見込まれること、既存施設が多数の水門や護岸から構築されており維持管理、耐震補強などに万全を期さない状況、海岸線での開発が進みこの地域で社会資本が整備されてきておりこれらを高潮から防護する必要がある。この計画についてと研究会で提案されている形式について紹介する。



鶴谷 広一 先生

●プロフィール

昭和48年4月 運輸省港湾局入省
平成14年4月より現職 東海大学海洋研究所教授
(前(財)沿岸開発技術研究センター理事兼リサイクル研究部長)

沿岸における開発と環境に関する最近の話題

◆沿岸開発と環境および最近の沿岸センターの研究動向◆

講演概要 沿岸開発における環境配慮については、さまざまな取り組みがされている。その一例として、海底浚渫土を改質して、浅場や干潟材として用いるための技術開発と、海洋深層水を海域改善に利用するための技術開発について紹介する。さらに、リサイクル等の技術も含めて、最近沿岸センターで行われている技術開発の動向について、網羅的に紹介する。

テクノオーシャン2002

■2002年11月20日(水)~22日(金)

■神戸国際展示場(神戸ポートアイランド内)

●数値波動水路(CADMAS-SURF)プログラムのデモを実施
計算結果を図化処理することにより、波の動きがひと目でわかります。



展示ブース



財団法人 沿岸開発技術研究センター

お問い合わせ

〒102-0092 東京都千代田区隼町3-16 住友半蔵門ビル6F
TEL.03-3234-5862 FAX.03-3234-5877
e-mail: webmaster@cdit.or.jp Home Page: <http://www.cdit.or.jp>